

# ICCの賠償命令の傾向と変革的正義概念の取扱い

越智 萌（「国際刑事司法における変革的正義」  
第一回研究会、2022年4月23日）

## ICCの賠償命令制度概要

- ・裁判所が賠償に関する原則を確立する（ICC規程75条1項）／裁判所が損害等の範囲及び程度を決定できる（同）
- ・裁判所は個人に対して、適切な場合は集団に対して、又は両方に対して賠償の裁定を行うことができる（規則97）
- ・賠償命令は有罪宣告を受けた者に対して行うことができる（規則98(1)）
- ・被害者信託基金（基金）（ICC規程79条）：賠償任務＋一般支援任務
- ・構造：行政補償型説、付帯私訴型説、弁償命令型説（越智、2016）
- ・「何が賠償における成功なのかに関する共有されたビジョン」がないという根本的な問題（Ferstman, 2020, p. 449）

## ICCの賠償命令の傾向

日付	裁判部	罪	賠償形態	賠償額
2012年 8月7日 /2015 年3月3 日	ルバンガ 事件第一 審賠償命 令/上訴判 決	（イトゥリ地方）子ども兵の徴 集・使用	（第一審）賠償手続の基金への委託、425名の申請 被害者に対する「共同体ベースのアプローチ」 （上訴審）賠償形態については裁判部が決定、集団 賠償が適切、基金が実施計画案を提出（修復的アプ ローチ）	10,000,00 0 USD
2017年 8月17日 /2018 年3月8 日	カタンガ 事件第一 審賠償命 令/上訴判 決	（イトゥリ地方）ボゴロ村での 文民たる住民への攻撃（家屋の 破壊、略奪、殺人）	（第一審）個人賠償（297名×250USD）と集団賠償 （上訴審）第一審判決の内容をおおむね確定（精神 的損害に関し差し戻し）	1,000,000 USD
2017年 8月17日 /2018 年3月8 日	アルマー ディ事件 第一審賠 償命令/上 訴判決	（トンブクトゥ）文化財破壊	（第一審）集団賠償（保護された建物の復旧）、個人 賠償（保護された建物に生計を依拠していた個人の 経済的損失）1ユーロの象徴的賠償 （上訴審）第一審判決の内容を確定（手続に関し部 分的に修正）	2.7 million euros
2021年 3月8日	ンタガン ダ事件第一 審賠償命 令（上 訴中）	（イトゥリ地方）人道に対する 犯罪（殺人、強姦、性奴隷化、 迫害等）、戦争犯罪（殺人、文 民への攻撃、強姦、性奴隷化、 略奪、文民の移送、子ども兵の 徴兵・使用、敵財産の破壊等）	・被害者中心のアプローチ ・個人化された要素を持つ集団賠償（原状回復、補 償、リハビリ（再被害者かを防ぐ <b>変革的目的</b> ）、満 足（証明書発行、教育的キャンペーンなど）、象徴 的賠償（被害者の名前を冠したヘルス・センター設 置）	30,000,00 0 USD

## ICCでの変革的正義概念の取扱い

- ・ローカルな慣習への配慮＋構造的差別助長の回避（ルバンガ事件）
- ・女性の賠償手続参加の問題（アルマーディ事件）（Lostal, 2021）
- ・「変革的正義」：ンタガンダ事件で初めて言及

…性的暴力事例に関する米州人権裁判所コットン畑事件（Cotton Field case, Series C No. 205, paras 450-451）、Gilmore博士専門家レポート（ICC-01/04-02/06-2623-Anx2-Red2）、国連事務総長ガイダンスノート（ST/SG(02)/R425（2014））を参照

### 判旨

・「賠償の種類と態様」に関する箇所：賠償の態様：原状回復、補償及びリハビリテーションの提供（75条）＋象徴的、予防的、**変革的な（transformative）**価値、和解（Ntaganda, paras. 82）

・変革的な（transformative）な賠償の目的は、一般的に、修復的および矯正的な効果の両方をもたらすことを目指し、**差別と偏見、および犯罪が生じるための条件を作り出すことに貢献した実行を瓦解させることで構造的変化を促進するもの**

…賠償は、そのデザイン、履行、および影響において変革的であるために努力するべきである（Ntaganda, para. 94）

・ICCは結果より参加的プロセスを優先することと、不平等な力関係に挑戦することで社会的排除に向き合う必要/賠償を得るプロセスそれ自体が力を与えるもの（empowering）で変革的であるべきであり、賠償を得るための活動的な役割を得る機会を被害者に与えるものであるべきである（Ntaganda, para. 95）

## 今後の課題

・変革的正義概念をICCで用いることの意味とリスク（ICCの賠償制度の趣旨と限界／被害者が新たなリスクを負う可能性／謙虚な（modest）アプローチ）

⇒他の賠償メカニズムとのバランス（賠償に関する補完性(Reparative Complementarity)(Moffett&Sandval, 2021)）

・オグウェン事件の特徴の考慮（地域特性、犯罪の性質、被害・加害コミュニティ関係等）

# References

## Cases and submissions

- *Prosecutor v. Lubanga*, Decision establishing the principles and procedures to be applied to reparations (ICC-01/04-01/06-2904) Trial Chamber I (7 August 2012).
- *Prosecutor v. Lubanga*, Judgment on the appeals against the “Decision establishing the principles and procedures to be applied to reparations” of 7 August 2012 (ICC-01/04-01/06-3129) Appeals Chamber (3 March 2015).
- *Prosecutor v. Katanga*, Order for Reparations pursuant to Article 75 of the Statute (ICC-01/04-01/07-3728-tENG) Trial Chamber II (24 March 2017).
- *Prosecutor v. Katanga*, Judgment on the appeals against the order of Trial Chamber II of 24 March 2017 entitled “Order for Reparations pursuant to Article 75 of the Statute” (ICC-01/04-01/07-3778-Red) Appeals Chamber (8 March 2018).
- *Prosecutor v. Al Mahdi*, Reparations Order (ICC-01/12-01/15-236) Trial Chamber III (17 August 2017).
- *Prosecutor v. Al Mahdi*, Judgment on the appeal of the victims against the “Reparations Order” (ICC-01/12-01/15-259-Red2) Appeals Chamber (8 March 2018).
- *Prosecutor v. Ntaganda*, Reparations Order (ICC-01/04-02/06-2659) Trial Chamber VI (8 March 2021).
- *Prosecutor v. Ntaganda*, Expert Report on Reparations for Victims of Rape, Sexual Slavery and Attacks on Healthcare (ICC-01/04-02/06-2623-Anx2-Red2) Trial Chamber VI (3 November 2020).
- *Prosecutor v. Ongwen*, The Government of the Republic of Uganda’s Submission on Reparations (CC-02/04-01/15-1978) Trial Chamber IX (8 February 2022).
- *Case of González et al. (“Cotton Field”) v. Mexico*, Judgment of November 16, 2009 (Preliminary Objection, Merits, Reparations, and Costs), Series C No. 205.

## Others

- 越智萌「ルバンガ事件における国際刑事裁判所（ICC）の被害者賠償手続：修復的正義の要請と国際法上の意義」『国際公共政策研究』20(2) (2016), pp.31-46.
- Guidance Note of the Secretary-General: Reparations for Conflict-Related Sexual Violence, UN Doc. ST/SG(02)/R425 (2014).
- Marina Lostal, “Implementing Reparations in the Al Mahdi Case A Story of Monumental Challenges in Timbuktu,” *Journal of International Criminal Justice* 19 (2021), 831–854.
- Luke Moffett and Clara Sandoval, “Tilting at windmills: Reparations and the International Criminal Court,” *Leiden Journal of International Law* (2021), 34, 749–769.
- Carla Ferstman and Mariana Goetz, *Reparations for Victims of Genocide, War Crimes and Crimes against Humanity Systems in Place and Systems in the Making. Second Revised Edition* (Brill, 2020).